

- ①脂質膜小胞による血管再生療法
- ②肺がん組織から分泌される細胞外小胞の解析による新規バイオマーカー探索



代表者 **濱野 公一** 教授

メンバー 上野 耕司 助教
村上 純一 助教

業績例

1. Ueno K, Kurazumi H, Suzuki R, Yanagihara M, Mizoguchi T, Harada T, Morikage N, Hamano K. miR-709 exerts an angiogenic effect through a FGF2 upregulation induced by a GSK3B downregulation. Sci Rep. 2024 May 18;14(1):11372.

特許情報

【特許第7193849号】
2022年12月
「虚血組織に集積するエクソソームおよびその製造法」

【特願2022-098156号】（出願中）
「脈管障害の予防又は治療用医薬組成物」

本研究により解決される課題

- ①虚血組織に血管が誘導されることで組織の再生が促進
- ②肺がん組織の進展に関与するメカニズムを解明し、肺がんの新規バイオマーカーを確立

現在得られているデータの概要

①経静脈投与で虚血周辺組織に集積する脂質膜小胞を開発している。また、独自のスクリーニング方法により、血管新生を誘導するmicroRNAを見つけている。これらの技術を組み合わせで、経静脈投与で虚血組織周辺に血管新生を誘導することで、組織再生を誘導する治療の開発を行っている。

②肺がん組織から分泌される細胞外小胞に内包されている因子を解析している。これらの解析から、肺がんの進展に関するバイオマーカーとなる新規分子を探索している。

経静脈投与で血管新生を誘導する治療薬の開発



☆特許第7193849号、登録日：令和4年12月13日、発明名称：虚血組織に集積するエクソソームおよびその製造法
☆特願2022-098156、出願日：2022年6月17日、発明名称：脈管障害の予防又は治療用医薬組成物

肺がん患者の細胞外小胞(エクソソーム)内の新規バイオマーカー探索

